

第31号

令和2年1月1日 発行

シルバー美濃

発行所 〒501-3732
美濃市(広岡町)2971番地28

公益社団法人 美濃市シルバー人材センター
☎ 〈0575〉 33-2526



剪定講習会

目次

理事長あいさつ	2	剪定講習会を開催しました.....	4
役員紹介.....	2	我が人生元気でありがとう	5
「子年生まれ「年男、年女」に聞く	3	独自事業「焼きいも部会、うだつ石鹸部会」...	5
焼きいも部会にご参加ください	4	こんな仕事を引き受けます・会員募集	6



理事長あいさつ

(公社) 美濃市シルバー人材センター

理事長 宮 崎 千 尋

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は我が国にとって大変重要な年となりました。四月三十日の天皇陛下の退位に伴い「平成」が幕を閉じ、五月一日に皇太子殿下が即位され、新たな元号「令和」に改められた節目の年でした。当シルバー人材センターは、市民の皆様、行政、企業の方々の高齢者就業に対するご理解とご協力をいただき運営しており、日頃からのご用命に感謝を申し上げます。

さて、我が国では、少子高齢化と人口減少が急激に進んでいます。社会の活力を維持し、持続的な成長を維持していくためには、高齢者が生涯現役として活躍し続けられる社会をつくり上げていくことが、喫緊の課題となっています。

このような中で、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の発展に寄与するシルバー人材センターの果たす役割はますます高まっています。

センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を図っていくためには、就業機会の拡大と会員の増強が最重要課題と考えています。

就業機会の拡大については、平成二十三年度から取り組んでいるシルバー派遣事業では、高齢化が進み、労働人口が減少する中、多くの業種における人手不足分野や現役世代を支える分野において、就業会員を増やしています。

一方、会員の増強については、昨年に策定した中期計画に基づいて対策を講じ、会員の増強を図ってまいります。

また、女性会員に適した就業も多数受けていることから、女性の入会促進にも取り組んでまいります。

引き続き毎月一回の入会説明会を開催したり、様々なイベント等を利用するなどして、当センターのPRに努めてまいります。

会員の皆様には、友人やお知り合いを当センターにご紹介いただくことをお願いしたいと思います。

本年も地域の皆様に愛され、信頼される地域に根差したシルバー人材センターを目指し、事業を推進してまいりますので、一層のご支援をお願いします。

最後になりましたが、会員の皆様には安全就業と健康管理に十分に留意され、益々ご活躍されますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

明けまして
おめでとうございます
本年もよろしく
お願いいたします

公益社団法人

美濃市シルバー人材センター 役員一同

- 理事長 宮 崎 千 尋
- 副理事長 佐 田 千 恵 子
- 常務理事 澤 村 佳 史
- 理事 山 腰 時 安
- 丸 茂 勝 子
- 武 藤 幸 治
- 錠 家 信 広
- 古 田 一 夫
- 猿 渡 宮 明
- 武 藤 善 尚
- 小 川 敏 守
- 須 田 敏 之
- 監 事 下 村 すすみ



『子年生まれ 「年男・年女」に聞く』

子年生まれの会員さんに聞きました。

- ① 今年の抱負 ② 健康の秘訣
- ③ 会員として思うこと

井上 初太郎 (昭和十一年生まれ)

- ① 人とのふれあいを大切に令和にふさわしい素晴らしい年であることを願います。
- ② 毎朝、生水をコップ一杯飲むこと。
早寝、早起き、朝必ずご飯を食べること。
- ③ 私は、十八年前にシルバー人材センターの役員さんに勧められ入会しました。最初の仕事は市の施設勤労青少年ホームで、小学生や高齢者のサークルや同好会が、歌・踊り・太鼓などすべてが楽しい集まりで、その中に私も吸い込まれ毎日が楽しい日々でした。

その後、シルバー人材センターの役員をやらせて頂きセンターの大切さを感じました。仕事を通じて多くの会員さんと出会いコミュニケーションを図り心の健康と体の健康を作る場だと思えます。心と体の健康があつて本当の健康だと思えます。

現在、センターでは独自事業として会員有志約四十名がさつま芋作りをしています。五月から苗を植え八〜十月にかけ掘り取り、道の駅

「美濃にわか茶屋」や「みちくさ館」で生芋の販売、産業祭などのイベントでは石焼きいもを販売しすべてが完売です。

また、市内の小学生や岐阜市の幼稚園の芋掘り体験学習のお手伝いでは会員の皆さんは童心に帰り楽しいひと時を過ごしました。

今年の東京オリピックで美濃和紙の賞状が使用されますが紙を漉くのに必要な「ねべし(とろろあおい)」をセンターでも栽培しています。この「ねべし」が利用されれば非常に嬉しいことです。

最後に私は七回目の年男を迎え日々を大切に一人でも多くの人達とふれあい、出会いを大切にしたいと思っています。

古田 比佐子 (昭和二十三年生まれ)

- ① 健康に気を付け旅行に行きたいです。
- ② 「キョウイク」→今日行く、「キョウヨウ」↓今日用事がある。その言葉のようになるべく出掛けるように心がけています。
- ③ シルバー人材センターに入り私にもできる仕事があり、そして、大勢の人との出会いがあり嬉しく思っています。

古田 鈴子 (昭和二十三年生まれ)

- ① 一日一日を元気に過ごす。
- ② 畑で野菜作り
自転車仕事、買い物に行くこと。
- ③ 会員になって今年で七年になります。仕事は

美濃中学校で配膳と食器洗いをしています。大勢の先生方との出会いと励ましの言葉、生徒達の元気な笑顔でいつも有難うの言葉が支えます。職場の皆さんが良い方なので楽しくやっています。

また、月一回の「きらら」の配布は、皆さんが楽しみに待つて頂けるのでうれしいです。
自転車に乗つての配布は足腰が鍛えられてよいですよ。

古田 富美子 (昭和二十三年生まれ)

今あるのは、まわりのみんなにささえられ楽しく過ごしていけるから！
七十一歳になり、よくここまで生きてきたと思います。幸せです。

シルバーで頑張つて友達が出来たのも健康の元です。



「知恵袋」と「フクロウ」を合わせたシルバー人材センターのキャラクターです。

皆さん「焼きいも」部会へ

ぜひご参加ください

そして、その後の「美濃和紙
用具ミュージアムふくべ」は

川嶋 智 孝

焼きいも部会ができて早くも七年、最初は生櫛の畑を借りて行っていました。都合で現在の高速道下脇の大きな畑での作付けとなり、畑起こし、植付け、草取り、掘り起し収穫、芋洗い、販売を行ってきました。

畑が広いため、世界遺産となった本美濃紙の一つの原料となる「ねべし」を取る「とろろあおい」も栽培するようになりました。この植物は「根」を使うため、花が咲くと養分がそちらへ行くので根を育てるため花芽を取り除く作業が必要です。それで根が大きくなり立派なものができ、本美濃和紙保存会の方々に購入していただいています。他の野菜も少し作っています。

以前、芋の洗いは用水路などで洗っていましたが、現在のシルバーセンター事務所の裏庭にちょうどよい広場があり、そこで洗って乾かし、生芋は袋詰めにして道の駅「美濃にわか茶屋」と「みちくさ館」で、販売しています。

又焼くための窯は河原石を使って焼けるように鉄製の窯を二基作って焼いています。「本物の

石焼きいも」です。あかりアート展や産業祭での販売では試食に食べていただいた方々からは、大変おいしい・おいしいと喜んで買っていただけでも完売です。

私自身はなかなか作業のすべてに参加できませんが極力参加し、畑作業の疲れや販売の際の楽しさなどを実感し協力しているつもりです。

多くの会員の皆様ぜひ「焼きいも部会」へのご入会をお待ちいたしております。

さて、その後の「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」について経過を少し。一昨年(平成三十年)七月十八日オープンしてその管理運営の作業と国の有形民俗文化財の指定をいただくための台帳整理ほかの用務を行ってきました。

昨年度は年度初めとはいえ途中でしたので、入館者もあまり多くなく、学校では市内藍見小ほか県内五小学校及び名鉄観光や中有知公民館の皆さんにご来館いただきました。今年度は年度当初から教育委員会で県内全域にわたり学校、各種団体などにPRされて、今までに市内二校県内八校及び美濃ロータリークラブ他四団体のご来館または今後の予約となっています。

ご来館いただいた皆さんには、見学していただくばかりではなく、特に小学生には何か体験して喜んで学んでいただけるよう「美濃和紙用具ミュージアム」ではありますが石臼でのきな粉挽、稲穂の千刃扱き、手押しポンプでの水汲みなど楽しんで体験いただいています。その際には作業の指導や案内に人数が必要なので教育委員会からも

応援をいただいています。

又国の指定のための作業として、台帳・写真の整理・用具そのものの整理整頓もずいぶん進んでいます。今後皆さんの協力により一日も早く国の指定がいただけるよう作業を進めたいと思っています。以上簡単ですが報告いたします。

～剪定講習会を開催しました～



高齢者の技能向上と拡大をはかるため、市内在住の55歳以上の方を対象に10月15日(火)9名の方に参加いただき美濃市図書館前庭園において松、さつき、つげ等を題材にして剪定方法や、梯子のかけ方などの講習会を開催しました。

我が人生元気でありがとう

松岡 嘉三

昭和十一年生まれ丙子年です。人生八十三年生きてきました。

終戦が小学校三年で食事は食うや食わずの生活でした。小学校を卒業、昭和二十七年に中学校卒業、僕は手漉き和紙の手伝い、それも長続きせず下向きになり関の刃物研ぎを、その後も色々な仕事をやり昭和四十年ごろから平成十八年まで縫製業を営んできました。その後、平成十九年十一月にシルバー人材センターの会員になり今に至っています。

会員になって最初は「はぐるま号」で高齢の患者さんを自宅から病院まで送迎する仕事をやりながらシルバーの会員募集のチラシを配布する仕事もしていました。

次に教育委員会からの依頼で昔の古い道具を集めて民俗資料館を作る仕事でした。まず長瀬生涯学習センターに道具を集め平成二十二年に第一回展示会を開催、その後上牧生涯学習センターに移転、都合により一時的に旧美濃北中学校に搬入しました。この頃、体調がすぐれず治療等で仕事仲間の皆さんにはご迷惑とご心配をおかけしました。その後、片知生涯学習センターに「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」が平成三十年七月オープンしました。

スタッフの会員の皆さんに恵まれ職員の皆さま

～ 独自事業「焼きいも部会・うだつ石鱈部会」～

焼きいも部会では、さつま芋（紅あずま、金時、紅はるか）を道の駅「美濃にわか茶屋」と「みちくさ館」で販売すると共に、「産業祭」や岐阜市シルバー人材センター主催の「シニアワークフェア」に参加して、石焼きいもの販売を行いました。どの会場でも甘くて美味しいと好評で大盛況でした。また、うだつ石鱈も同時に販売しました。



人も良い人ばかりです。人生八十四年皆さんには感謝し尊敬しています。ありがとうございます。これからも楽しく働けるよう願っています。



市内の小学校2校の体験学習として会員の皆さんの協力を得て6月に子供たちと芋苗を植付け、収穫時期を迎えた11月には小学生のほかに岐阜市の幼稚園児も、芋掘り体験をしました。子供たちは大きく育ったさつま芋にびっくりしていました。

シルバー人材センターではこんな仕事をしています。

一般家庭・企業からの請負

工場等への派遣



草刈



草引き



庭木の手入れ



補修的な大工・ペンキ塗



工場内の軽作業



障子・襖の張替



家事援助

(屋内外の掃除、お手伝い等)



宛名・賞状書き



施設受付・管理



発掘調査

「お仕事のご依頼」承ります

ご家庭では：家庭内の作業でお困りのことがございましたら、
まずはお気軽にご相談ください。
企業の皆様：シルバーでは、依頼主の指揮命令による派遣の仕事
もできるようになりました。



お電話
ありがとうございます。
シルバー
人材センターで
ございます。

☎ 33-2526

平日 8:30~17:00

会 員 募 集

- 美濃市在住の方
- 60歳以上で健康で働く意欲のある方
- 余った時間を利用し収入を得たい方。**

*シルバー人材センターとは？

能力の活用・生きがいとして、臨時的かつ短期的な仕事や簡易業務を一般家庭・
企業・公共団体から仕事を引き受け、会員に就業を提供する公益法人です。

会員の就業希望と能力に応じた働き方ができます。

*シルバー人材センターで働く日数、時間には上限があります。

日数の上限：おおむね月10日程度以内
時間の上限：おおむね週20時間を越えないこと

☆会員になるにはまず、入会説明会へ☆

毎月第3水曜日センターにて午後3時から

お問い合わせ

美濃市広岡町2971番地28
電話番号 0575-33-2526



豊かな経験、知識、
技能を活かし地域に
貢献しませんか